

作業仕様 ①

下地構成、枠組み、9ミリ合板下張り後、**ハイポリックシーラーを2回塗る。**
天井、正面壁の漆喰部分はMKプラスター、かき落とし土壁部分はBドライ
洗い出し部分はアースタック下地とする。

- | | |
|--------------------------|--|
| (1)軒先、柱 | 砂壁を2回塗りとする。 |
| (2)持ち送り
天井見切り
提灯輪郭 | 焼き石膏置引きを寸法にカットして貼り付ける。 |
| (3)天井
正面中壁 | 中塗りはせず、MKプラスターに直接漆喰を塗り付け、
押さえ仕上げとする。 |
| (4)提灯中壁 | Bドライで中塗りをして、タナクリームで磨き仕上げとする。 |
| (5)左官文字 | ステンシル工法で仕上げる。 |
| (6)正面両脇 | 掻き落とし仕上げとする。 |
| (7)左袖壁内外 | Bドライで中塗り後、漆喰押さえ仕上げとする。 |
| (8)右袖壁内 | 土壁撫で切り仕上げとする。 |
| (9)右袖壁外上 | 中塗りはせず、ボードフィラーに直接現代漆喰を塗り付け
パターン仕上げとする。 |
| (10)腰壁見切り | 蛇腹洗い出し仕上げとし、ビス止め・ドカモル中塗り後、
種石配合材を塗り付け型引きを行い、洗い出す。 |
| (11)腰壁 | モルタル中込み後、目地棒貼り付け、 白竜 配合材の洗い出し
仕上げとする。 |
| (12)巾木 | 灰墨を入れたドカモルを塗り付け、押さえ仕上げとする。 |

作業仕様 ②

(13)床ボーダー ペースト塗り後、大磯 1 分砂利洗い出し仕上げとする。

(14)床 緑花石敷き込み

注意事項

- (1)実行委員指示のもと、「作業開始」・「作業終了」の行動を共にする。
- (2)各工程の標準時間から 10 分経過した時点で作業を打ち切りとする。
- (3)材料および不都合が発生した場合は、速やかに実行委員・審査委員に連絡すること。
- (4)各自の課題周辺の整理整頓を心掛けること。
- (5)怪我の無いよう、安全作業に心掛けること。
- (6)砂壁に絡む寸法はプラスマイナス 1 mm まで良しとする。